

セルラスで変化した息子、そしてこれから育つもの

—世界に通じる力を育てる—『多言語広場 CELULAS メルマガ』第 17 号

12月6日の日曜日にセルラス関東フェスティバルが無事に終了しました。
青少年が準備を重ね、当日は小4以上の青少年がそれぞれ大活躍！
若い子たちは発想が豊かで、楽しい会になりました。
大人も負けていけないな～、と思いました。

セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。
このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。
<http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

◇◇ 活動体験談 vol.2～親子で活動・互いに成長出来るセルラス～ ◇◇

今回も、活動メンバーの体験談をご紹介します。
ご紹介するのは、横浜市在住の夏目さんです。
ご家族で活動されて4年半、親子で活動しているからこそ分かる、
息子さんの成長について語っていただきました。
それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラスメルマガ』第17号の目次です。

【目次】

≪1≫ 活動体験談 ～セルラスで変化した息子、そしてこれから育つもの～
横浜市在住 夏目さん（家族構成：夫・小5息子・小2娘）

≪2≫ セルラスインフォメーション

≪1≫ 活動体験談 ～セルラスで変化した息子、そしてこれから育つもの～
横浜市在住 夏目さん（家族構成：夫・小5息子・小2娘）

【人とことばを同時に育てる活動】

私は、セルラスの活動を始めて4年半が経ちます。
当時、1年生の息子と年少だった娘も、今は5年生と2年生です。
私は子供達に、将来、英語などの外国語を話せる人になって欲しいと思っていましたが、
それよりも前に、まずは日本語で、そして自分の言葉で気持ちを伝えられる人になって欲しいと思っていました。
そんな時にセルラスのセミナーに来て、ここでは、外国語もそうだけれども、同時に人も育てる場だという話にとっても惹かれ、そして今までにない言葉の習得方法にも興味をもったのがきっかけで、参加を決めました。
ロールプレイ(※1)とか、シャドウイングとか、その言葉すら初めてのものばかりでしたが、やってみると意外に楽しくて、家の中で子ども達と遊び感覚で面白いと思った言葉を使うようになったり、お誕生日には4か国語で歌おうよ！と歌ってみたり、外国語を勉強ではなく、どこどこの国の人と話すためのことば～みたいな感覚で話しているように感じています。

【息子の最初の変化】

息子はもともと人前で話すのがとても苦手で、自分が明日、日直で1分間スピーチをしなければならないと分かった時、ずっと以前の息子なら、私や主人に泣いてどうしようと頼んできて、私達は一緒にスピーチを考えてあげなきゃ、という流れになっていました。
ところがある日気づくと、息子は日直の前日でも「あの話をすればいいか」とだけ言って寝てしまうようにな

っていました。

当日も普通に学校へ行き、帰宅しても何も言わない息子に、私の方が心配になって「今日大丈夫だった？」と聞いてみると、息子は「何が？大丈夫だよ」とだけ言ってさっさと遊びに行っていました。

ピアザ(※2)では、毎回、人に向かって自分を表現します。最初は自分の名前を言うことから始めて、それがだんだん多言語でも挨拶ができるようになり、また、メンバーで出し合うクイズに答えたり、ロールプレイをするために仲間と自分の思っていることを話したり、時にはプレゼンテーションもしたりして、とにかく身近なところからいろいろ話すという機会があります。

息子は、きっと、この毎週の積み重ねで、何か言えたらみんなに褒めてもらって、少しずつ苦手を克服していったのだなと思いました。

【「違い」をものともしない息子】

実は彼は最近若干反抗期に突入しています。人と話すことをめんどくさがったり、活動に対して以前より消極的になっています。

せっかくセルラスで育ってきたものが、このままでは無くしてしまうのではないかと危機感を感じたこともあり、もっとしっかりしろよとイライラしてしまう自分がいます。

ただ、反抗期でも息子はセルラスが楽しいといい、積極的ではなくても必ずピアザに参加しています。

なんでだろう？と不思議になるくらいです……。

しかしつい最近、息子は、学校で委員会の司会をして、反対意見と真っ向対決となり、まとめるのが大変だったという話を私にしてきたことがありました。

その後先生が、「夏目君、大丈夫か？」と声を掛けてきたそうで、息子は何で自分は心配されたのか不思議だと言うのです。

「そりゃ、けちゅんけちゅんに反対意見言われてかわいそうに思ったのでは？」と私が返すと、

「なんで？なんで反対意見がおかしいの？みんな意見が違って当たり前だよ。意見が違うだけだから、自分は悲しいとも相手を敵とも思わないのに。違いは宝物なのよね。先生おかしいね。」とぼそぼそ話をしてくれました。

【みんなで作る豊かな環境】

最近何にもしないと憤っていましたが、息子の中では確実にセルラスでのスタンス《違いを受け止め、理解しようとする姿勢》が根付いているのだと気付きました。

セルラスは、年齢層も広く、子育て世代の仲間も沢山いて、反抗期の息子を色んな視点で包んでくれる沢山の仲間がいます。

彼が大好きで憧れる Jr リーダーや中高生も沢山います。きっと彼は彼なりに、セルラスの大切さや、自分のあるべき姿を見つけているのかな、と最近思えるようになりました。

私自身も、息子に負けずにいろいろな人と関わりながら、この環境をもっと豊かなものにしていけば、これからの人生や子育ても、さらに楽しいものになり、自分の可能性を広げていけるのではないかと思っています。

【注釈】

※1 ロールプレイ: 会員がセルラスストーリーブックの物語を、様々な役になって表現し、楽しみながらコミュニケーション力、共感力を育てていきます。

※2 ピアザ: 多言語・多文化に触れる活動。会員は週1回以上、地域の会場に集まります。

《2》 セルラスインフォメーション

◆多言語広場フェスティバル 2015 ◆

先日 12/6(日) 関東・恵比寿にて、セルラスの大きなイベントの一つ、「フェスティバル」が開催されました。企画・運営の準備を何度も重ねたセルラスの青少年達の成果が存分に発揮され、楽しく、

またピアザを越えた仲間との交流を深めることができた、素晴らしい会となりました。

こちらの模様は HP で後日アップされます！是非ご覧ください☆

セルラス HP ⇒ <http://www.celulas.or.jp/index.html>

また、来週 12/13(日)は関西・尼崎にて「フェスティバル」が行われます！

参加ご希望の方は、セルラス本部事務局までお申し込みの上お越しください。

お申し込み先:セルラス本部事務局 TEL 03-5333-8202

◆近日開催多文化教育セミナーのお知らせ◆

来年、2016 年は 2 月より各地でセミナーを順次開催していく予定です。

詳細が決まり次第、こちらのメルマガ、また HP にてお知らせ致します。

<開催予定地>

横浜 ・ 渋谷 ・ 世田谷 ・ 飯田橋 ・ 難波 ・ 神戸学園都市

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語習得や異文化体験、楽しい交流の活動を、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。